

# 中学生英語学習者に対するアメリカ研修旅行の影響(2)

三宅 なほみ  
(東京大学教育学部)

## — 問題 —

英語を学習しているものにとって、英語で生活している人々の社会に融れ、それらの人々と英語を通してコミュニケーションを行う経験をするのがどんな意味を帯びているのかを探ることは、英語教育研究上非常に大切なことと思われる。昨年発表した「中学生英語学習者に対するアメリカ研修旅行の影響」<sup>1)</sup>では、中学生英語学習者が、16日間に亘るアメリカ研修旅行の結果、いわゆる「外国」という言葉で示されるような外の世界に対する積極的なとり組み方をより志向するようになったこと、文化的な統合への志向を含んだ英語学習に対する動機づけがより強く表明されるようになったこと、及びこの後者の変化が、引率者によってより積極的に行動すると評定された生徒群においてのみ見られるものだったことなどを報告した。が、前回の調査では、アメリカ人を積極的に評価しようとするかどうかを直接問う「アメリカ人に対する考え方」尺度の上では有意な変化がみられず、「外国」に対するとり組み方の変化や文化的統合志向型の動機づけの変化が、後者のどのような体験から出てきているのか推測できなかった。

昭和49年夏にこの継続研究として再度類似の調査を実施したので、今回はその中から、中学生の研修旅行参加者が、アメリカ人及び日本人の抱え方をどう変化させたか、に焦点を絞って結果を報告してみたい。

## — 方法 —

牧場滞在、民泊等を含む、16日間に亘るアメリカ西部海岸地方研修旅行に参加した、男子13名女子12名計25名の中学生を対象に、旅行前後(出発約1週間前と帰国途上の飛行機内)に質問紙による調査を行い、その回答傾向の変化を検討する。質問紙の中で、アメリカ人及び日本人の抱え方に

研究への御理解を示され調査継続の御許可下さった財団法人ファミリー・スクール理事長波多野勲子先生、及び調査に御協力下さった同スクール広池利邦先生に、厚く御礼申し上げます。

直接関係あるものは、次の2つである。

### (1) 「アメリカ人に対する考え方」尺度

アメリカ、特にアメリカ人について、それを積極的に評価しようとするかどうかを問う。表1にあるような8項目について、賛成反対を7段階に評定させる。前回の調査で使用した尺度と同じものである。

### (2) 日本人・アメリカ人の抱え方

日本人、アメリカ人のそれぞれに対してどういう印象が持たれているかを調べるひとつの試みとして、S.D.法を用い、表2にあるような24の形容詞対について、7段階評定を求めた。まず日本人、ついでアメリカ人について評定させる。どちらの場合も、形容詞対の並び方は表2と同じ。

表1. 「アメリカ人に対する考え方」尺度上の変化

| 項目(反対←増成→)                                 | 7値<br>(Correlated t value) | 変化方向別人数 |    |    |
|--|----------------------------|---------|----|----|
|  |                            | +       | 0  | -  |
| 1. アメリカ人は、日本社会が豊かになるのに力をかしてくれた。            | 1.44                       | 10      | 8  | 7  |
| 2. アメリカ人の中から、多くの偉大な芸術家や作家が出てくる。            | -1.25                      | 7       | 9  | 9  |
| 3. アメリカ人の政治や考え方は、とても民主的である。                | 0.97                       | 7       | 12 | 6  |
| 4. 日本からアメリカの影響が失われるとしたら、それは日本にとって重大な損失である。 | 2.60*                      | 10      | 11 | 4  |
| 5. アメリカ人は、日本人よりもずっと礼儀正しい。                  | -1.46                      | 5       | 9  | 11 |
| 6. アメリカ人は、とても信頼できる。                        | 1.12                       | 8       | 14 | 3  |
| 7. アメリカ人の家庭生活は、日本人にとって良い手本である。             | 1.52                       | 12      | 6  | 7  |
| 8. アメリカ人は、見知らぬ人に対しても気が配りよくて親切である。          | -1.13                      | 6       | 9  | 10 |

— 結果と討論 —

各被験者の、旅行後の回答値から旅行前の回答値を引き、その差を先に七値 (Correlated t Value) を求めた。表1、2に、方法(1)、(2)のそれぞれの七値と、旅行後回答値を変化させた方向別の人数が挙げられている。

表1から分かるように、「アメリカ人」に対する考え方の尺度は、今回も尺度全体としては有意な変化を示さない。項目のワーディングがかなり抽象的であるためかも知れない。項目4上のみみられる変化なども、今後は、この「影響」という言葉に対して中学生たちが若々どんなイメージを描いているのかを分かるような方向の研究を可考のてゆくべきだろう。

S.D.法をまねた(2)の方では、有意差の太た形容詞対は入れ様多くなかった。全体的にみて注目すべきことは、始めて「本物」とつき合ってきた

「アメリカ人」の捉え方だけでなく、「日本人」の見方も変わっていること、その両者では有意な変化の示された形容詞対が異なり、日本人とアメリカ人の特徴をそれぞれかなり違ったものとして捉えているらしいことなどであろう。又、有意な変化を示している形容詞対の内容からいって、アメリカ人については、「思っていたより頭が悪くて子供っぽい」という、いわば評価が下がった面があるのに対して、日本人に対する評価はおおむね上がっているのも興味深い。(2)のような方法・結果の検討を含めて、中学生たちの旅行体験をより生の形でとらえる努力が必要だと思われる。

\* 谷本なほみ 1974 「中学生英語学習者に対するアメリカ研修旅行の影響」 日教心16回大会発表464-5

討論希望事項

このような継続研究では、どのようなテーマをどんな方法によって追うのが有効であろうか。

表2 旅行前後で捉えられた日本人・アメリカ人に対する形容詞対上の評価の変化

| 形容詞対<br>(一方向) /点 | 7点 (+方向)     | <日本人>                |    |    | <アメリカ人> |                      |    |    |    |
|------------------|--------------|----------------------|----|----|---------|----------------------|----|----|----|
|                  |              | 七値<br>(Correlated t) | +  | 0  | -       | 七値<br>(Correlated t) | +  | 0  | -  |
| つき合っていて楽しい       | — たいくつな      | 0.96                 | 7  | 12 | 6       | -2.37*               | 5  | 6  | 14 |
| 物の見方のかたよらない      | — 物の見方のかたよった | -1.32                | 5  | 10 | 10      | -1.33                | 7  | 6  | 12 |
| 勇敢な              | — 臆くびょうな     | -2.03°               | 5  | 7  | 13      | -0.20                | 7  | 9  | 9  |
| 顔わたりのうつくしい       | — みにくい       | -0.63                | 3  | 18 | 4       | -2.32*               | 2  | 14 | 9  |
| ほてな              | — じみな        | 0.00                 | 9  | 10 | 6       | 0.47                 | 7  | 11 | 7  |
| 親しげな             | — 人づきあいの悪い   | 0.68                 | 8  | 12 | 5       | -0.46                | 5  | 13 | 7  |
| 正直な              | — 不正直な       | -0.76                | 5  | 11 | 9       | -1.33                | 4  | 12 | 9  |
| 頭の悪い             | — 頭のよい       | 0.82                 | 11 | 8  | 6       | -2.29*               | 2  | 15 | 8  |
| 親切な              | — 残酷な        | -0.13                | 10 | 4  | 11      | -0.95                | 5  | 11 | 9  |
| 陽気な              | — むっつりした     | -0.93                | 6  | 15 | 4       | -0.42                | 5  | 15 | 5  |
| 礼儀正しい            | — 礼儀正しくない    | -1.76°               | 6  | 7  | 12      | -0.74                | 7  | 8  | 10 |
| まじめな             | — ふまじめな      | 0.16                 | 7  | 9  | 9       | 0.00                 | 7  | 9  | 9  |
| 物事をうまくやる         | — 不器用な       | -0.33                | 6  | 12 | 7       | 0.70                 | 7  | 13 | 5  |
| しっかりした           | — たよりない      | -0.44                | 8  | 10 | 7       | -0.59                | 7  | 9  | 9  |
| 人にたよる            | — 人にたよらない    | 1.80°                | 10 | 8  | 7       | 0.40                 | 5  | 14 | 6  |
| 寛大な              | — 厳格な        | -2.78*               | 3  | 9  | 13      | 0.14                 | 9  | 9  | 7  |
| 人の先に立つ           | — 人についてゆく    | -0.51                | 6  | 11 | 8       | 0.46                 | 7  | 13 | 5  |
| 大人っぽい            | — 子供っぽい      | 0.68                 | 6  | 15 | 4       | 2.79**               | 12 | 10 | 3  |
| 安室した             | — 不安室な       | -4.11***             | 0  | 13 | 12      | -0.31                | 9  | 10 | 6  |
| 幸福な              | — 不幸な        | -1.57                | 5  | 9  | 11      | -0.49                | 5  | 13 | 7  |
| 人気のある            | — 人気のない      | -1.78°               | 2  | 17 | 6       | -0.95                | 5  | 11 | 9  |
| 勤勉な              | — なまけもの      | -0.66                | 4  | 14 | 7       | -0.33                | 4  | 15 | 6  |
| 野心のある            | — 野心のない      | 2.32*                | 9  | 14 | 2       | 0.70                 | 10 | 10 | 5  |
| 不活発な             | — 活発な        | -0.12                | 8  | 10 | 7       | -0.51                | 5  | 12 | 8  |

\* P<.10    \*\* P<.01  
\* P<.05    \*\*\* P<.005